



# Four Seasons Resort Bali at Sayan

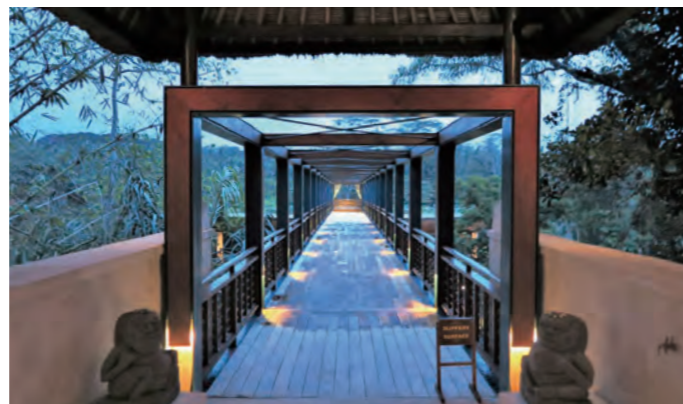
フォーシーズンズリゾート アット サヤン「Four Seasons Resort Bali at Sayan」のメイン棟全景。聖なるアユン川渓谷に佇み、バリ島中部の鬱蒼とした密林と美しい水田に囲まれている。お椀の形をしたメイン棟の空間デザインは非常に凝ったもので、建物は渓谷に佇む大自然との一体感を風が抜けるオープンエアのスタイルで表現している



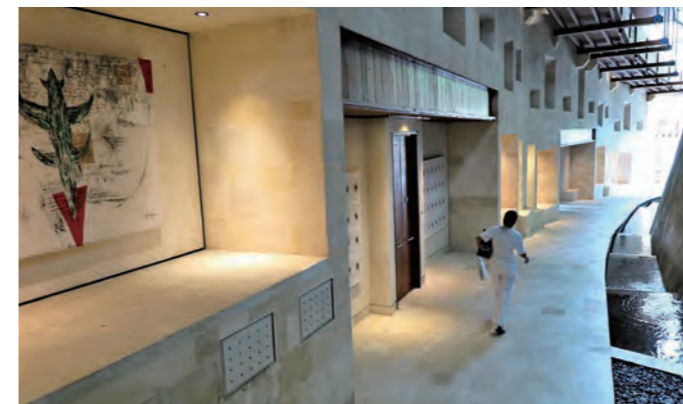
メインダイニング「Ayung Terrace」のテラス席。美しいアユン川の渓流を眺めながら、新鮮な食材と香辛料をふんだんに使用したインドネシアの郷土料理を楽しむ



ゲストが送迎のリムジンを降りるチェックポイント。レセプションまでのアプローチは期待感を持たせたユニークなものだ



チェックポイントから清流の峡谷を眼下に吊り橋を渡ると、メイン棟の屋上にある円盤状のテラスに到達する



18室あるメイン棟のスイート客室の廊下。デザインは英国の建築デザイナー、ジョン・ヘア氏が率いる「Heah and Co」が担当



屋上テラスからロビー&バーラウンジ、そしてメインダイニングと続くスタイリッシュな空間デザイン



筆者 小原 康裕  
国際ホテルジャーナリスト  
慶応義塾大学法学部法律学科卒。  
1974年 Munich Re 入社。  
2001年投資顧問会社原健設立、  
代表取締役 CEO。  
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント  
協会専務理事。  
SKAL International Tokyo、  
Professionnels du Tourisme 会員。  
JARC、日本宿泊施設関連連合会  
アドバイザーボードメンバー。  
[www.jhrca.com/worldhotel/?cat42](http://www.jhrca.com/worldhotel/?cat42)  
[www.hoteresonline.com](http://www.hoteresonline.com)  
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>



周囲は空中に浮かんだような蓮池があり、テラス中央にある階段を下りてレセプションフロアに辿り着く演出だ

## Four Seasons Resort Bali at Sayan

バリ島・ウブドにあるフォーシーズンズリゾート アット サヤン「Four Seasons Resort Bali at Sayan」(以下、FS/S)は聖なるアユン川渓谷に佇み、バリ島中部の鬱蒼とした密林と美しい水田に囲まれている。芸術の中心地であるウブドの村や多くのヒンズー寺院、文化史跡も近くにあり、緑に包まれた地上の楽園といっても過言ではないだろう。送迎のリムジンを降りてからレセプションフロアまでのアプローチは期待感を持たせたユニークなものだ。チェックポイントから清流の峡谷を眼下に吊り橋を渡る

と、メイン棟の屋上にある円盤状のテラスに到達する。周囲は空中に浮かんだような蓮池があり、テラス中央にある階段を下りると、ジャングルの渓谷が絵画のように広がるロビーフロアに辿り着くドラマチックな演出だ。

FS/Sのデザインは英国の建築デザイナー、ジョン・ヘア氏が率いる「Heah and Co」が担当し、お椀の形をしたメイン棟と直線の吊り橋は、茶碗の上に置かれた箸をモチーフにしているといわれる。メイン棟の空間レイアウトは非常に凝ったものだ。屋上は蓮池テラス、階下にロビー&バーラウンジ、その下はメインダイニング、またその下はジャグジーが張り出したスパとなり、お



屋上テラスから下へと続く階段を下りると、ジャングルの渓谷が絵画のように広がるロビー&パーラウンジフロアに辿り着く



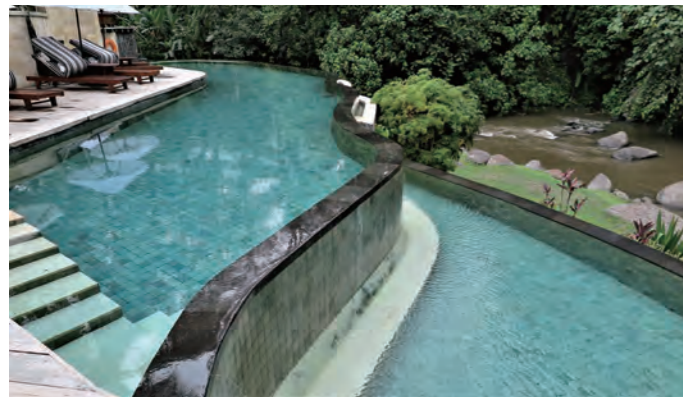
フォーマルにセッティングされたメインダイニング「Ayung Terrace」のディナー風景



メイン棟側にあるスパ施設「Spa at Four Seasons Resort Bali at Sayan」のトリートメントルーム



ジャングルの風景と一体となったジャグジーバスは心地よくお勧めである



アユン川沿いにあるスイミングプール。ライステラスを意識した棚田スタイルがユニークだ



広大なホテル敷地には所々に休み処の“ガゼボ”が用意され瞑想するのも良い

椀状の建物は渓谷に佇む大自然との一体感を風が抜けるオープンエアで表現している。

広大な敷地内には 18 のメイン棟スイートと 42 のヴィラタイプの客室が点在し、心身の安らぎを得るには格好の場所と言える。今回はヴィラタイプの「One-Bedroom Villa」をご紹介したい。アウトドアスペースを含めて約 350㎡の広さを持ち、専用のプライベートプールを備えた<sup>しようれい</sup>瀟洒な一戸建てだ。メインダイニング「Ayung Terrace」は美しい渓流を眺めながら、インドネシアの郷土料理を楽しむ。そのほか、アユン川沿いのプールサイドレストラン「Riverside Cafe」、チーク材のデッキから渓谷を一望する

開放感あふれるラウンジ「Jati Bar」など多彩だ。スパ施設「Spa at Four Seasons Resort Bali at Sayan」はヴィラ側にもあるが、メイン棟のジャングルと一体となったジャグジーバスは心地よくお勧めである。

FS/S の広大な敷地内にはライステラス（棚田）やハーブガーデンがあり、ハーブはレストランやスパのオイルにも使われている。実際に棚田では農作業も行われており、裸足で水田の中に入り鍬を持って土を耕すといった“田植え体験”のアクティビティもある。ここは、ビジネスの多忙な時間を忘れ、自然のパワーを通して安らぎと静寂を得る貴重なリゾートと言えよう。

# Four Seasons Resort Bali at Sayan



ヴィラタイプ「One-Bedroom Villa」の優雅なベッドルーム。アウトドアスペースを含めて約 350㎡の広さを持ち、専用のプライベートプールを備えた一戸建てだ。広大な敷地内には 18 のメイン棟スイートと 42 のヴィラタイプの客室が点在し、心身の安らぎを得るには格好の場所といえる



天蓋付きのキングベッドからプールのあるアウトドアスペース方向を望む



瀟洒なヴィラ専用のプライベートプール



アウトドアスペースに用意されたリビングルーム



十分な広さを確保したゴージャスなバスルーム。木製のルーバーを開けばビューバスタイプになる